

総合型選抜入試の目的と特徴

国際コミュニケーション学科で学ぶはつきりとした目的意識、明確な将来設計を持ち、自らを成長させ続ける意欲を示す経験と実績を持った受験生を求めています。

主な選考基準は以下の3点です。

- 1 志望理由が国際コミュニケーション学科の「求める人物像」に合致しているか。
- 2 大学で学ぶ意味を自覚し、具体的な目的と活動意欲を持っているか。
- 3 高校時代に積極的に取り組んだ努力や経験を踏まえた具体的な将来設計があるか。

※7月上旬から阪南大学入試サイトに公開される総合型選抜入試特設サイトを閲覧し、総合型選抜入試の目的や特徴を良く理解してください。また、阪南大学および国際コミュニケーション学科に関するWebサイトの内容もしっかりと確認してください。不明な点等は、オープンキャンパスの「教員との個別相談」で気軽に相談してください。

学科の教育目的と求める人物像

■教育目的

国際コミュニケーション学科はグローバル社会で活躍する人材を育成する学科です。国際社会で活躍するためには、優れた語学力と異文化理解が必要です。コミュニケーションの手段である言語（特に、英語・韓国語・中国語）を実際に使用する力を養成すると同時に、異なる価値観・世界観を持つ人・社会・文化に対する理解を深めるために、マスメディア、心理学、国際関係、社会学、歴史学など多様な分野の知識を修得します。実践的な言語運用能力と優れた異文化対応能力を同時に養い、世界中で活躍するために必須な「国際コミュニケーション力」を高めます。

■求める人物像

国際コミュニケーション学科の求める人物像は下記のとおりです。

- 1 探究心を持ち、他者と共に学び成長できる人
- 2 グローバル社会で通用する語学運用能力を身につけたい人
- 3 在学中に留学をして、自分の可能性を広げたい意欲のある人
- 4 世界の国や地域の民族・政治・社会・歴史・文化・宗教などについて学びたい人
- 5 心理学・マスコミュニケーション・メディア・異文化理解について学びたい人
- 6 国際社会に通用する教養・コミュニケーション能力を身につけ、それを活かす職業に就きたい人
- 7 将来の目標を設定して、継続的にキャリアアップをめざせる人
- 8 日本および世界の発展に貢献したいという意志がある人

具体的な例としては、下記のような受験生を積極的に募集します。

- ①学内外のボランティア活動、クラブ、組織などで優れた活動の実績があり、そこで培ったコミュニケーション能力を、大学での学びを通してさらに向上させたいと考えている。
- ②留学、語学研修、国際交流事業などに参加した経験があり、大学でさらに実践的に学んでいきたいと考えている。
- ③「NHK 杯全国高校放送コンテスト」、「地方の時代映像祭」、「YouTube 甲子園」、「宣伝会議賞」などの大会への参加経験がある。
- ④現代の国際情勢や社会問題に強い関心があり、大学で課題解決に向けた取り組みや、情報発信を積極的に行う意欲がある。

エントリーについて

国際コミュニケーション学科の総合型選抜入試に出願を希望する受験生は「エントリー」が必須です。7月上旬から阪南大学入試サイトに公開される総合型選抜入試特設サイト内の「エントリーシート」をダウンロードし、エントリー課題および必要事項を記入の上、阪南大学入試広報課宛に郵送してください。提出された「エントリーシート」の内容を確認した後、8月上旬から願書を随時郵送します。入試対策として、オープンキャンパスに積極的に参加することをお勧めします。

選考方法および課題、選考における評価基準

■プレゼンテーション型

選考方法

- ①学修計画書
出願時に提出する事前提出課題です。
- ②プレゼンテーション
試験当日に学部・学科で指定されたテーマについて、5分～7分程度のプレゼンテーションを実施します。プレゼンテーションの方法は試験室内で行えるものであれば自由です。ただし、パソコン等の機器を持ち込む場合は事前に入試広報課に相談してください。また、配付資料がある場合は、資料を2部持参してください。
- ③個人面接
試験当日、「学修計画書」および「プレゼンテーション」をもとに面接担当者が質疑応答を行います。
※試験時間は「プレゼンテーション」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

プレゼンテーションテーマ

あなたが特に関心を寄せる（学びたい）海外の国を1つ挙げ、その国の概要・魅力・その国のことを学ぶ意義（何のために学ぶのか）について説明してください。なお、選択した国によって得点に差がつくことはありません。

評価基準

項目	配点	備考
事前提出書類（学修計画書・調査書）	20%	志望動機、学修意欲、高等学校等での努力や姿勢など
プレゼンテーション	40%	論理性、創造性、完成度など
個人面接	40%	アドミッション・ポリシー理解度・意欲、計画性、論理性、表現力など

■課題探究（課題レポート）型

選考方法

- ①学修計画書
出願時に提出する事前提出課題です。
- ②課題レポート
出願時に提出する事前提出課題です。学部・学科で指定されたテーマについて、課題レポートを作成してください。
- ③個人面接
試験当日、「学修計画書」および「課題レポート」をもとに面接担当者が質疑応答を行います。
※試験時間は15分程度です。

課題レポートテーマ

グローバル社会において求められる「コミュニケーション能力」とはなにか。また、その能力を高めるためにはどのような学修や活動が必要か。あなたの考えを1,500字程度で具体的に記述してください。

なお、国際学部国際コミュニケーション学科入学後の学修・活動計画と関連付けて述べても構いません。

評価基準

項目	配点	備考
事前提出書類（学修計画書・調査書）	20%	志望動機、学修意欲、高等学校等での努力や姿勢など
課題レポート	40%	論理性、創造性、完成度など
個人面接	40%	アドミッション・ポリシー理解度・意欲、計画性、論理性、表現力など